

総合所見

東みずほ幼稚園は一人ひとりの子どもたちが安心して笑顔で遊びきれよう、

- ① 子どもの心に寄り添うことで、園が安心した居場所となる。
- ② 教師間の共通理解を深め、子どもたちの育ちを保障する。
- ③ さまざまな人とのかかわりを通しての心の育ちを大切にする。
- ④ 思いを伝えあえる空間や仲間作りを大切にする。

以上の点に留意しながら子どもたちの姿や背景を考慮し、何をどう育てるのか目標を持って細やかな保育・教育に努めることが大切であると考えます。

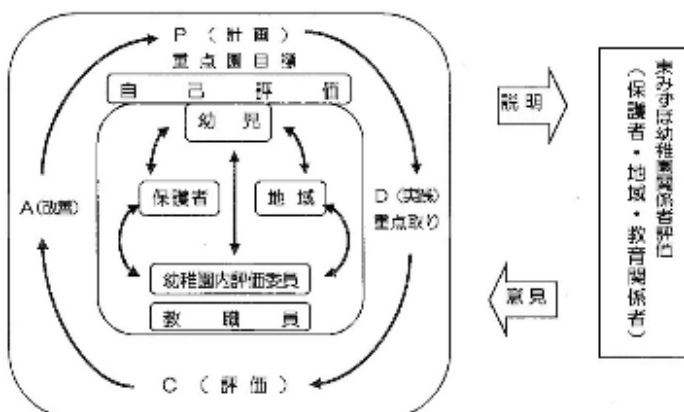
今年度は、子どもたちの主体性という観点から遊びを見取り環境作りをする。これまで継続してきた朝のマラソン・体操など長年取り組んだ活動が、子どもたちの体づくりや心の成長につながっていることを再確認して、保育を進めていきました。また、2学期以降の自由遊びでは、年長児の遊びに年中児が加わり共に遊んでいる様子がありました。特に運動会後は憧れの年長児に混じりリレーやドッジボールをして遊んでいました。このような遊びやかかわりが学年や異年齢の遊びに発展して、作品展の「お店屋さんごっこ」は、事後活動でもしっかり遊びました。その活動の過程を、尚徳中学校区教育推進協議会交流授業研究会「あたたかい心で助け合い 共に育ち合う仲間づくりをめざして」～楽しい 面白い やりたいこと みんなでやってみよう～というテーマで公開保育を行いました。本園の特色である異年齢交流も含めた保育を全クラス公開後、人権・同和保育の視点を含めた研究協議を行い、参加された先生方から貴重なご意見、ご感想をいただきました。その中に、環境構成が子どもの主体性を育むようにできていた。という内容がありました。良質な教育を提供するための環境（人的・物的）ということは常日頃、職員間で話し合っており、これを励みに一層努力していきたいと考えております。

運動会のマーチング、地域の方の畑での栽培・収穫など、たくさんの地域の方々にかわいがっていただき、温かい心のつながりと意欲を高め知識を得て、日々子どもたちは成長しています。また、毎学期の祖父母交流でも来られたおじいさんおばあさんが、自身のお孫さんと同様に愛情をもって接して下さることで、安心して自分の思いを发表或し表現したりする姿があり、たくさんの愛情により自己肯定感を育てているように思います。

安全教育として、交通安全教室、火災・地震等の避難訓練も計画的に実施しています。春に他県で歩道を歩行中の園児が死傷する痛ましい交通事故が発生しました。これを受け普段の散歩コースの安全点検と園児が歩行中の職員の配置、配慮、安全指導について園で協議し、共通理解をしました。昨年作成した洪水時避難計画で避難訓練を実施し、永江公民館へ全園児避難しました。近年多くなっている自然災害も含め大切な命を守る安全教育も管轄の消防署、警察署と連携を取り実施しました。

尚徳中学校区の幼稚園としての役割を考え、地域の皆様や保育園、小学校、中学校の先生方と教育的な温かい繋がりを深めていけるよう、職員一同頑張ります。

東みずほ幼稚園学校評価システム研究組織



学校法人翔英学園 東みずほ幼稚園

☎:0859-26-3931

<http://www.higashimizuho-youchien.jp>